

- **SDGsという社会ニーズと自社の取組がマッチしたことが、新たな収益の確立やビジネスチャンスに。**
- **SDGsへの取組が自社や社員の成長を促すとともに、新たなネットワークの形成にもつながった。**

○SDGs経営への取組経緯

- ・当社は従来より環境印刷に取り組んでいたが、環境に関連したパンフレット等以外に主立った需要はなかった。
- ・ある時期より、コロナ禍にも関わらず東京支社の**環境印刷の受注が昨対比で大幅に増加**。
- ・要因を分析する中で、世の中のSDGsへの関心の高まりが社会ニーズとして環境保全に関する意識を高めている事を認識。「**SDGs = 社会課題**」であり課題解決への取組が顧客ニーズの充足に繋がると、社員からも事業戦略としてSDGsに取り組みたいとの声上がる。収益への貢献に対する確かな手応えに加えSDGs教育が進んでいる背景も鑑み、**若手人材へのPRにも繋がることからプロジェクトチームを結成**。
- ・チームの編成においては、将来を担う**若手の「やりたい」という気持ちを尊重**するためメンバーの大半を一般社員で構成し、**ボトムアップ方式**を重視。

○社内での浸透に向けて

- ・チーム員以外の社員からも活動の内容を教えて欲しいとの要望が高まり、取引先へのPRにも繋がることから営業部門を皮切りに**社内全体での周知会を開催**。
- ・社員に根付かせるために、以下の項目を順次展開。
 - ①教材によるSDGsに関する知識の習得。
 - ②試験的に少人数のグループを作り、個人単位でのSDGsへの取組を発表。
⇒まずは**自分事として**SDGsに親しんでもらう。
 - ③前述の取組の和を徐々に社内に広げていく。



【高松本社】



【羽田東京工場】

○SDGs経営における当社の取組



【環境印刷の強化】



- ・適切に管理された森林の木材を使用した「**FSC®森林認証紙**」および石油系溶剤1%未満の「**ノンVOCインキ**」を使用し、更に有害物質が含まれる湿し水を必要としない「**水なし印刷**」を用いることで、環境への配慮を徹底。更に、水なし印刷を活用することで**従来の印刷物と比較し、どの程度環境の負荷に貢献できるかを数値化**。見える化することで、商談におけるエビデンスとしても好評を得ている。

【「SBT (Science Based Targets) 認定※」取得】

- ・従来よりカーボンオフセットに取り組んでおり、当社のCO2排出量調査をきっかけに着手。**大手企業も注目**していたことから、SBTに取り組むことで同じ視点に立つことができ、かつ、国際基準に則った取組を行うことで社会的な信用力も増すというメリットが想定されることから取得を決意。**申請における使用言語が英語**であることが大きなハードルであったが、**語学力に長けた社員の全面的な協力**もあり**2022年3月に取得**。自社もサプライヤーの一員であり、サプライチェーンを形成する取引先への付加価値の提供に繋げている。

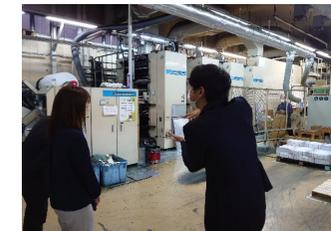
※パリ協定と整合した温室効果ガス排出削減目標を立てていることを示す国際認証

○SDGsプロジェクトで得られたもの

- ①**伝わった** : **SBT認証取得の県内第一号**としてメディアで紹介された。
- ②**つながった** : 前述をきっかけにセミナー等で登壇する機会が得られ、新たな出会いに繋がった。
- ③**広がった** : 通常業務だけでは出会えない、**各企業のSDGs担当者との交流**が生まれた。
- ④**儲かった** : SBTに取り組む大手企業よりコンタクトがあり、**新規開拓にも成功した**。
- ⑤**選ばれた** : 若手となるZ世代はSDGsに対する関心も高く、採用面での効果が期待できる。
- ⑥**育った** : 各部署にSDGsの知見をもった社員が増えることで、**新たな商品やサービスの開発**が可能になった。

○今後の取組について

- ・プロジェクトチームの活動も2年目となり、取り組む項目も増加。**課題ごとにリーダーを決め**、定期的な報告会で進捗状況を共有。当社が重視しているボトムアップ方式を各部署で展開し、**SDGsの波紋**を広げていく。



○会社概要

【本社】香川県高松市木太町2158
 「都市型環境印刷工場」として、環境に配慮した事業を展開。全国に4箇所の拠点を有しており、中でも羽田東京工場は、「第10回印刷産業環境優良工場表彰」で最高の経済産業大臣賞を受賞。環境配慮型印刷に特化した業界のモデル工場として存在感を示している。